

5 - 6 光波測距による東海地域における辺長変化 (1977 - 1997 年)

Time series of line lengths for baselines in Tokai region (1977-1997)

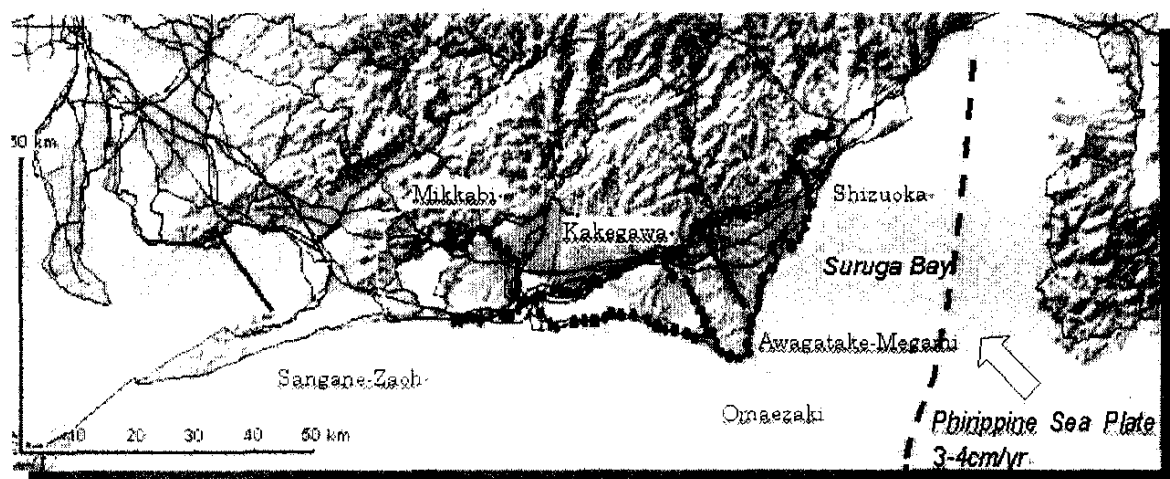
名古屋大学理学部

School of Science, Nagoya University

1977 年以降実施している光波測距による三ヶ根 - 蔵王・粟ヶ岳 - 女神基線における辺長測量を整理し、以下の特徴が明らかになった。第 1 図の上に基線の位置、中に両基線における直線歪みの時間変化を、下に両基線における歪み変化をスケーリングして示す。

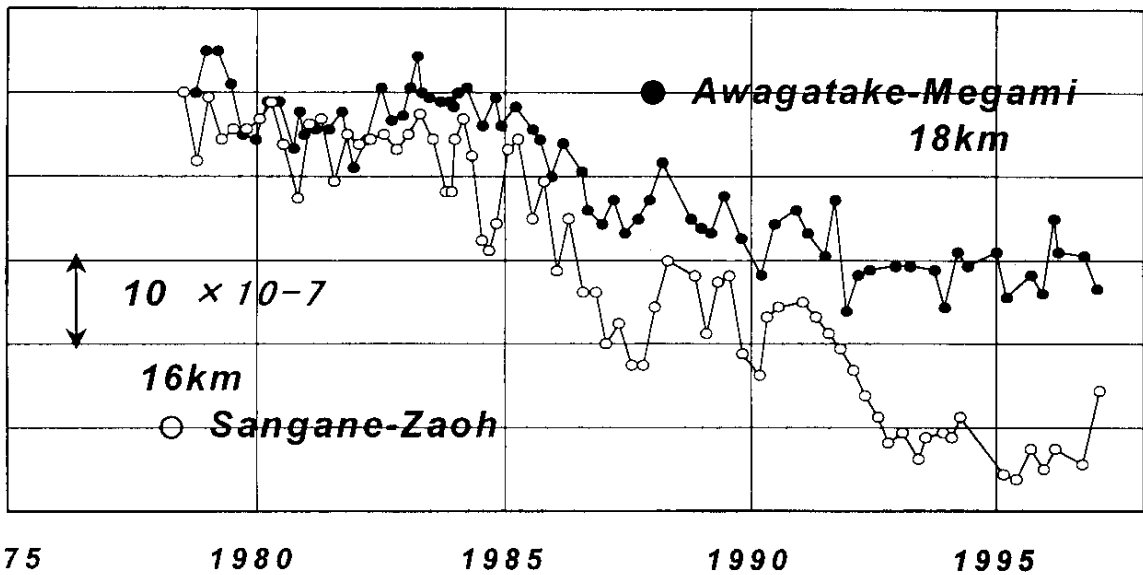
粟ヶ岳 - 女神・三ヶ根 - 蔵王基線において観測された辺長変化は以下の特徴を示す。

- 1) 両基線とも $(1 - 2) \times 10^{-7} / \text{yr}$ の短縮を示す。
- 2) 駿河トラフからより遠い三ヶ根 - 蔵王基線において大きな歪み速度を示す。
- 3) 時間的に一様でなく 6 - 8 年周期で加速と緩和を示す。
- 4) 両基線で同期した歪み変化を示す。

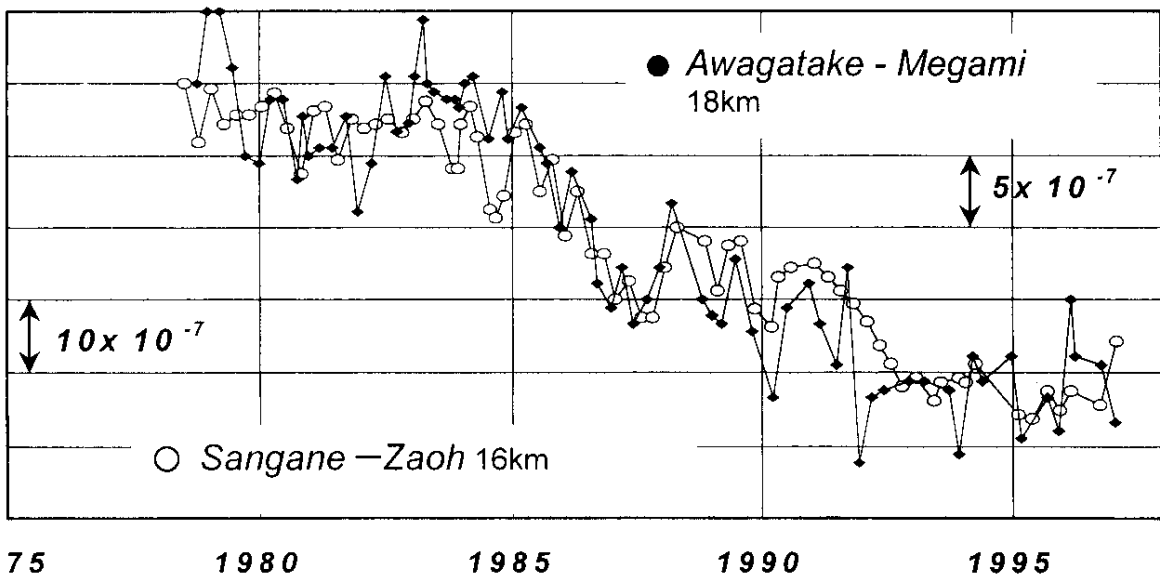


第 1 図 東海地域における光波基線の位置。国土地理院の水準路線の位置も記す。

Fig.1 Locations of baselines and leveling route



第2図 三ヶ根-蔵王基線()と粟ヶ岳-女神基線()における辺長変化歪み量で示す。
 Fig.2 Time series of linear strain (dl/L) for Awagatake-Megami and Sangane-Zaoh baselines.



第3図 三ヶ根-蔵王基線()と粟ヶ岳-女神基線()における辺長変化を両基線で同一スケールになるようにして示す。両基線で歪み変化のスケールが異なる。
 Fig.3 Time series of linear strain observed on Awagatake-Megami and Sangane-Zaoh baselines. Strain scales are different on each baseline.